

第 号
令和 7 年 1 月 日

九州運輸局長 殿

住 所 福岡県嘉麻市岩崎1180番地1
協議会名 嘉麻市地域公共交通会議
代表者名 会長 山田 卓嗣

地域公共交通確保維持改善事業に関する事業評価の提出について (案)

令和 5 年度地域公共交通確保維持改善事業に伴う事業評価を行いましたので、別添のとおり報告します。

担当部署: 嘉麻市交通政策課交通政策係
担当者名: 伊藤 智洋
連 絡 先: 0948-42-7404
E - m a i l: kotsu@city.kama.lg.jp

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(生活交通確保維持改善計画に基づく事業) (案)

令和 年 月 日

協議会名:嘉麻市地域公共交通会議

評価対象事業名:市バス停留所待合環境整備事業

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点 (特記事項を含む)
嘉麻市地域公共交通会議	バス停留所へのベンチ設置	令和5年度からの事業	物品価格の高騰やベンチの仕様変更により、設置数が計画に満たなかったが、利用者の多い主要なバス停への設置ができ、事業はおおむね計画に位置づけられたとおり、適切に実施された。	令和5年度の設置目標13基に対し設置実績10基。 バス待合時の負担は軽減され、待合環境は向上した。 待合環境の向上により、バスを利用しやすい環境が整ったことで、バス利用者の増加が見られた。	令和6年度以降も予算を確保しながら当事業を継続し、早期に設置目標を達成することで、待合時の負担を軽減し、バス利用者の更なる増加を図る。

事業実施と生活交通確保維持改善計画との関連について（案）

令和 年 月 日

協議会名：	嘉麻市地域公共交通会議
評価対象事業名：	市バス停留所待合環境整備事業（バス停ベンチ）
地域の交通の目指す姿 （事業実施の目的・必要性）	嘉麻市地域公共交通計画においては、「高齢者や学生が公共交通で気軽に外出・移動できる環境の整備」を基本方針と掲げ、その中で待合環境を整備することを目標としている。当市には市バス停留所が255箇所存在しているが、多くの停留所では待合環境が整備されておらず、アンケート等においても待合環境の改善を要望する意見が多い状況にある。このことから、当市ではベンチ設置に関する基準を定め、待合環境の整備に取り掛かることとしており、事業を実施することで、利用者の待機時間における負担を軽減し、公共交通の利便性向上を促進する環境整備を目的とする。